

違法駐車に

お手上げ

裏通り…道中央歩くクセ

大阪名物・違法駐車に盲導犬もお手上げ？ 大阪や尼崎など都市部で活躍する盲導犬が、違法駐車に順応してしまい、歩道がない道路で、車道中央を歩くクセがついて、目の不自由な人が交通事故に巻き込まれそうになるケースが増えている。キチンと訓練されてはいるのだが、あふれる違法駐車のおまりのひどさに車を避けながら通行することを怠けてしまっている。視覚障害者や盲導犬訓練所は「いつ人身事故が起ころうもおかしくない。違法駐車は絶対やめてほしい」と危機感を募らせている。

盲導犬

大阪など



違法駐車を避けて車道を進む盲導犬。利用者が事故に遭いそうになるケースが増えている＝大阪市西区内で

官公庁やオフィスビルが、押に訪れていた。たち並ぶ大阪・中之島などの都心部。大阪府警によると「クリアウェイ作戦」が効果を増えているとはいっても、相変わらず違法駐車は多い。特に裏通りは道路の両側を車がわがもの顔に占拠。表通りと違って歩道が整備されていないため、まっすぐ歩くのにも苦労するほど。

盲導犬を利用するように、また、尼崎市内のマッサージ師の女性などは「歩道野区の主婦は毎週二回地下鉄で北区内の教会に礼拝し、教会活動している。盲導犬を養成している「関西盲導犬協会」(京都府)によると、盲導犬は、道路の左端に沿って歩くように訓練されており、車にぶつかるのを避けるように訓練されている。しかし、歩道がない道路で、車道中央を歩くクセがついて、目の不自由な人が交通事故に巻き込まれそうになるケースが増えている。キチンと訓練されてはいるのだが、あふれる違法駐車のおまりのひどさに車を避けながら通行することを怠けてしまっている。視覚障害者や盲導犬訓練所は「いつ人身事故が起ころうもおかしくない。違法駐車は絶対やめてほしい」と危機感を募らせている。

両側の車避け 利用者に危険も

また、尼崎市内のマッサージ師の女性などは「歩道野区の主婦は毎週二回地下鉄で北区内の教会に礼拝し、教会活動している。盲導犬を養成している「関西盲導犬協会」(京都府)によると、盲導犬は、道路の左端に沿って歩くように訓練されており、車にぶつかるのを避けるように訓練されている。しかし、歩道がない道路で、車道中央を歩くクセがついて、目の不自由な人が交通事故に巻き込まれそうになるケースが増えている。キチンと訓練されてはいるのだが、あふれる違法駐車のおまりのひどさに車を避けながら通行することを怠けてしまっている。視覚障害者や盲導犬訓練所は「いつ人身事故が起ころうもおかしくない。違法駐車は絶対やめてほしい」と危機感を募らせている。

は回避するよう厳しく調教してある。しかし都市部に派遣された盲導犬は、数カ月もたつと、回避するのが面倒と判断し、駐車車両の横を車道側から通り過ぎるようになる、という。

このため、同協会は定期的に利用者を訪問し、盲導犬のチェックを実施しているが、ドライバールのモラル向上が先決と言えそうだ。関西盲導犬協会盲導犬総合訓練センターの多和田恒所長の話「障害物は避けるように訓練をしているが、あまりの違法駐車が多さに、何回も何回も避けることにバカらしくなってきた。違法駐車は絶対やめてほしい」と危機感を募らせている。